

履修案内

●カリキュラムの特徴

科学の視点で経営企画力を身につけ、商品作りから企業経営のマネジメントのプロを目指します。「人・情報・環境・サービス」をキーワードに、戦略的なマネジメントを、科学的・工学的な視点から研究。品質・生産・原価という商品生産の3要素はもちろん、商品・サービス・価格まで研究対象を広げ、効率的なマネジメントの理論・手法を修得します。

●卒業要件

- ① コア科目のうち、全人教育・FYE科目群10単位を修得していること。
- ② コア科目のうち、言語表現科目群・社会文化科目群・自然科学科目群・総合科目群の各科目群から4単位以上を含み、24単位以上を修得していること。
なお、コア科目のうち、言語表現科目群・社会文化科目群・自然科学科目群・総合科目群の修得単位が24単位を超えた場合は、超過分は8単位を上限に自由選択科目として、下記④項の合計単位にカウントする。
- ③ マネジメントサイエンス学科科目群の必修科目13単位を含み、53単位以上修得していること。
- ④ 上記の条件を満たして、全学部開講科目から合計124単位以上を修得していること。

■ マネジメントサイエンス学科必修科目

科目名	単位数	科目名	単位数
マネジメントサイエンス導入ゼミ	1	ケースメソッド	2
情報分析Ⅰ	2	ビジネスコンテンツ	1
キャリアデザインⅠ	1	ケーススタディⅠ	2
企業倫理	2	ケーススタディⅡ	2

●卒業までの単位配分

マネジメントサイエンス学科では、卒業までに、コア科目群、学科科目群、他学部・他学科開講科目など数多くの開講科目から、バランスよく学習できるカリキュラムが構成されています。

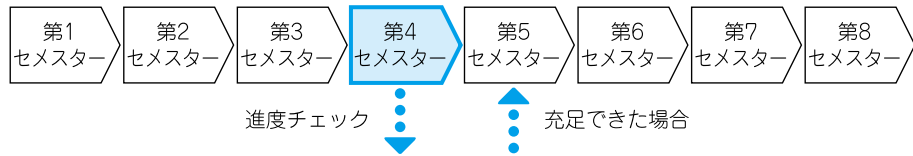
コア科目	
全人教育・FYE科目群	10単位
言語表現・社会文化・自然科学・総合科目群	24単位（各科目群から4単位以上、上限32単位）
マネジメントサイエンス学科科目群	53単位以上
自由選択科目	任意 他学部・他学科開講科目 他大学との単位互換科目
卒業に必要な単位数	124単位 （ただし、32単位を超えるコア科目：言語表現・社会文化・自然科学・総合各科目群の単位数はこの合計に含まない）

また、学科科目群には教育職員免許状取得に必要な科目の一部が配置されています。それらの科目を履修することによって、学科卒業要件となる単位と同時に教育職員免許状取得に必要な単位も修得できるようになっています。

●進捗チェック

マネジメントサイエンス学科では、第1セメスターから第8セメスターの間に、次の(1)および(2)の進捗チェックが行われます。

(1) 第4セメスター（2年次）終了時における進捗チェック



- ① マネジメントサイエンス学科必修科目の中から6単位以上を修得していること。
 - ② 総計62単位以上を修得していること。
 - ③ 学科が指定する下記の試験・検定のひとつに合格あるいは規定の点数を取得していること
漢字検定準2級以上、英語検定準2級以上、数学検定準2級以上、簿記3級以上、品質管理3級以上、TOEIC 400点以上、消費生活アドバイザー試験1次試験合格以上、日本語検定準3級以上
- ※試験・検定の結果および検定合格の証明書類が学科で指定された期日までに担任に提出されなければ、進級条件を充足していることにはならない。

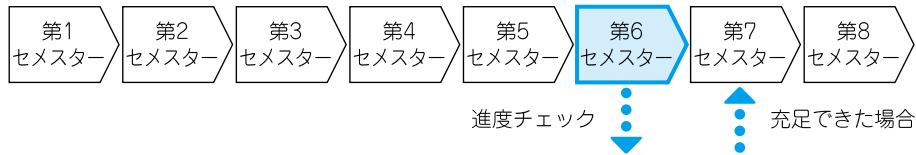
* 試験科目・検定は外的要因により変更する場合がある。

充足できなかった場合

- 第5セメスター以降の開講科目は履修できない。
- 現学年に留める。



(2) 第6セメスター（3年次）終了時における進捗チェック



- ① コア科目のうち、全人教育・FYE科目群10単位を修得していること。
- ② 総計93単位以上を修得していること。


充足できなかった場合

- 第7セメスター以降の開講科目は履修できない。
- 現学年に留める。



●進捗チェックにかかわる試験・検定の支援科目

検定、資格	科 目	開講セメスター
消費生活アドバイザー	キャリアデザイン I 消費生活科学 I	2 3
TOEIC、英検準2級	アカデミックライティング インテンシブ英語 I インテンシブ英語 II	1 3 4
数学検定準2級	基礎数学 代数学入門 微分積分学入門 マネジメントサイエンス数学	1 1 1 2
簿記3級	特別講座開講 原価計算	掲示 3
品質管理3級	特別講座開講 ケースメソッド	掲示 3, 4
【追加】 日本語検定準3級	キャリアデザイン I	2

取得できる教育職員免許状
一覧  p.185

●教育職員免許状

種 類
中 学 校教諭 1 種免許状 (数学)
高等学校教諭 1 種免許状 (数学)